

「学校だより」2023年 1月号

新沢っこ

檀原市立新沢小学校

電話 27-4163

新年、あけましておめでとうございます。
今年も昨年同様に新沢小学校職員一同
子どもたちの成長を願って、
教育活動に努めて参ります。
本年もご支援ご協力をいただきますよう
よろしくお願いたします。

「野球やろうぜ！」大谷選手からのプレゼント

ロサンゼルス・エンゼルス・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味をもってもらうために
たちあげたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つのグローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるための
シンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生
を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの
この個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただけたら幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平



〈上の文章は、大谷選手から届いたプレゼントのグローブに添えられた手紙です〉

昨日、始業式後に教頭先生が「大谷選手からのプレゼントです!」と全校の子どもたちに3つのグローブを披露しました。多くの子どもたちが喜んでいました。

全国的にも話題になっている大谷選手から送られたグローブ…。私たちは、流行?となっているから子どもたちに見せたのではありません。【教育】をしている学校現場の職員として子どもたちがこのグローブに出会うことは、多くの子どもたちにプラスになるものがきっとあると思っています。大谷選手は「野球を楽しんでもらいたい!」という願いを持っています。本校では飾っておくだけでは野球を楽しめないと思っていますので、子どもたちがグローブに手を入れ、みんなでこのグローブを使用していこうと考えています。

なお、3つのうちの一つは職員室前に置いていますので、保護者のみなさまや地域の方々で興味のある方は、来校いただいでご覧いただけたらと思っています。

1月1日に起こった能登半島地震から・・・

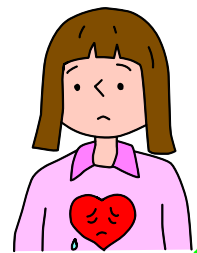
1月1日16時10分、新年に入ってお正月一日目。

全国の多くの家庭で楽しいひとときを送っておられたことでしょう。そんな時に起きた大地震……。ご存じのように多くの命が失われ、ご家族を亡くされた方や未だご家族のどなたかが安否不明であったりして、とてもつらい思いをされている方もいることでしょう。

この話を昨日の始業式の一番最初に全校の子どもたちにさせていただきました。「被害にあった人たちって、何か悪いことしたと思う？」ときけば、みんなが首を横に振っていました。楽しいひとときが一転し、「小さい子から年配の方まで、たくさんの方がお亡くなりなり、残された家族は、これからつらい思いをして過ごしていく・・・」ということも子どもたちに話しました。それから『ご冥福をお祈りして（強制ではない）黙祷をしようと思います』とご冥福の意味を伝えながら、子どもたちと職員みんなで黙祷をしました。

〔人の痛みをわかる人になってほしい〕と私は思います。そして、始業式にしたこの経験が、少しでも子どもたちの優しさや強さに繋がってほしいなあと考えています。

今回のようにいつ何時起こるかわからない地震、10月の授業参観後に引き渡し訓練も行いましたが、今後も自分の命を自分で守れる安全教育を引き続き行って参ります。



チャンス → チャレンジ → チェンジ 〔CHANCE〕 〔CHALLENGE〕 〔CHANGE〕

昨日は、朝マイナス2度の寒い中で元気に子どもたちは登校してきました。自転車を走らせながら、登校する子どもたちに声をかけると、すごく元気な声が返ってきて、初日からこちらも元気をもらいます。

始業式で〔チャンス・チャレンジ・チェンジ〕という話をしました。「校長先生は、何でも知っているというわけではありません。時には、1年生の教室に行って、1年生のみんなから教えられることもあります。わかりやすく言うと、1年生の教室に行く機会（チャンス）があって、行こうと実行（チャレンジ）して、クラスの人から話を聞いて知ったり気づいたこと（チェンジ）があるんです。」

わたしたちは大小に関係なく、いろんな経験を積んでいます。学校では、友だちと一緒に授業を受けたり、給食を食べたり、掃除をしたり、休み時間に遊んだりしています。何かを行う時は、

- ①必ずそれを行う場があります（チャンスです）
- ②そして、ハードルの高さは別としてそれをやってみます（チャレンジです）
- ③そうすると何か自分に返ってくるものがあります（チェンジです）

そのことにチャレンジしてみると成功しても失敗しても自分に返ってくるものがあることが多いです。それが「学び」です。例えば、授業の最後に「振り返り」という時間を創ることがあります。振り返ることで「わかったこと」「知ったこと」「気づいたこと」が意識できて、自分のものになっていき、自分が少しずつ良くなっていく。その営みを繰り返すことで、人は成長していくらしいです。

たくさんの経験があって知識や感覚が知らない間についてきます。それは小さい子どもからお年寄りまで無限にあります。今年は〔チャンス・チャレンジ・チェンジ〕がたくさんある年になり、成長していく子どもたちを楽しみにしたいと思います。